



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年2月27日発表
担当課:秘書課

事業の名称等

「平成30年度熊谷市表彰式」の開催について

1. 日時
2. 場所
3. 事業概要
4. 特徴やPRポイント
5. その他

資料の有無(有) ・ 無)

担当者 松本、駒井

連絡先 048-524-1112 (秘書課直通)

平成30年度
熊谷市表彰条例に基づく被表彰者
功績調書

文化功勞表彰

にしやま としひこ
西山 敏彦 氏 (82歳 熊谷市妻沼在住)

元妻沼町教育委員会教育長
元埼玉県市町村教育委員会連合会理事
瑞宝双光章 (平成17年)
熊谷市文化功勞者 (熊谷市教育委員会 平成21年)

功 績

西山敏彦氏は、昭和33年4月から37年6か月の長きにわたり、終始一貫して教育者としての職責を強く自覚しながら職務に精励し、広く教育行政の発展に寄与されました。

この間、氏は、公立小学校の教諭、大里教育事務所指導主事、埼玉県教育委員会学校保健課指導主事兼給食係長、熊谷市立籠原小学校校長を務められた後、再び大里教育事務所において、同主任指導主事兼指導課長、同主任管理主事兼次長を経て、妻沼町立長井小学校・妻沼小学校の校長に就任し、熊谷市はもとより大里事務所管内の教育力のレベル向上に尽力されました。

また、平成7年10月から8年間、妻沼町教育委員会教育長として、学校教育・社会教育・スポーツ・文化の振興に大きく貢献されました。

特に、平成9年度から妻沼町に実施主体を移管した高校女子サッカーの全国大会である「めぬまカップ」を地域ぐるみの活動として発展させ、全国に名だたる大会として定着させました。

さらに、平成11年10月から平成15年9月まで、埼玉県市町村教育委員会連合会理事及び大里地区教育委員会連合会教育長部会長を歴任し、熊谷地区はもとより、広く埼玉県の教育の充実に貢献されました。

退職後の平成20年4月から3年間、熊谷市中岡自治会長として、平成24年4月から現在までは、斎藤別当実盛公敬仰会会長として、地域の発展や文化の振興に努められています。

このように、その優れた人格と情熱、卓越した統率力で、学校教育等をとおして本市の発展と教育振興、スポーツ・文化の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

福祉功労表彰

まつだ しんいち
松田 眞市 氏 (84歳 熊谷市伊勢町在住)

元熊谷市社会福祉協議会会長
元埼玉県社会福祉協議会理事
元熊谷市議会議長
埼玉県知事表彰(平成12年)
厚生労働大臣表彰(平成17年)

功 績

松田眞市氏は、昭和55年6月、地域住民の信望を得て、荒川地区社会福祉協議会会長に就任され、以後37年の長きにわたり、地域福祉の向上に情熱を傾け、市民福祉の増進に大きく貢献されました。

この間、氏は、昭和56年4月に社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員に平成9年4月には同理事に就任し、当協議会合併後も評議員として活躍され、その豊かな識見と温厚にして公平な人柄が高く評価され、平成19年7月に副会長、平成20年4月には会長に就任されました。

氏は、市民参加による福祉のまちづくりを目指し、地域福祉推進の中核的な役割を担う法人のリーダーとして、市や関係団体・機関及び地域住民などとの連携を図りながら、地域に密着した福祉活動に大きく貢献されるとともに、平成25年の台風18号に伴う竜巻被害発生の際には、災害ボランティアセンターの設置など被災世帯への支援に率先して取り組み、以後、災害ボランティアの養成・センター設置訓練など、平時での組織化を推進されました。

また、平成20年5月からは、埼玉県社会福祉協議会及び埼玉県共同募金会理事、埼玉県社会福祉協議会市町村社協連絡会副会長の要職を歴任し、広域的な視点から、地域福祉の課題解決に向け尽力されました。

さらに、昭和52年4月から現在に至るまで、熊谷市伊勢町自治会長として活躍される一方、平成3年5月から3期12年の長きにわたり熊谷市議会議員を務められ、平成13年には議長に就任されるなど、市政発展にも多大な貢献をされました。

このように、長きにわたり、本市の発展、市民福祉の向上及び地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

産業功労表彰

なかざわ みのる
中澤 実 氏 (70歳 熊谷市宮町在住)

元熊谷商工会議所副会頭

熊谷法人会会長

関東経済産業局長表彰(平成23年)

関東信越国税局長表彰(平成27年)

功 績

中澤実氏は、昭和63年6月に熊谷商工会議所議員に就任して以来、平成13年11月から熊谷商工会議所役員として、平成9年5月から公益社団法人熊谷法人会役員として、現在に至るまで地域経済の活性化に尽力されるとともに、税の啓発や租税教育にも積極的に取り組み地域産業界に大きく貢献されています。

この間、氏は、熊谷商工会議所青年部理事として、若手会員の組織基盤の強化を図られたほか、常議員、卸売商業部会部会長として、会員からの意見・要望を関係官庁へ働きかけるとともに、多くの課題解決に尽力されました。このような、氏の優れた指導力と資性温厚な人柄は多くの信頼を得て、平成22年には副会頭に就任され、会頭を補佐しつつ組織の拡充や財政・基盤強化等に努め、熊谷商工会議所の運営に多大なる貢献をされる一方、産業界を代表して熊谷市公平委員会、熊谷市建築審査会、熊谷市公共下水道事業運営審議会等、多方面にわたり委員等を務められるなど、市政の充実と発展にも多大な貢献をされました。

また、熊谷法人会においては常任理事等要職を歴任し、税知識の普及や納税意識の高揚を大きな目標として活動されたほか、公益社団法人化と時を同じくして平成25年5月から会長に就任し、会の新たな理念に、地域企業の健全な発展と地域社会への貢献を加え、より公益性の高い事業に重点を置き活動に邁進されています。

このように、卓越した行動力とリーダーシップを発揮され、商工業の振興及び租税に関する積極的な取組により本市の発展に大きく寄与された功績は誠に顕著です。

自治功勞表彰

こばやし じんいち
小林 甚一 氏 (76歳 熊谷市妻沼在住)

元熊谷市議会議員
元熊谷市農業委員会委員
元妻沼町議会議長
埼玉県知事表彰(平成28年)
旭日双光章(平成29年)

功 績

小林甚一氏は、平成7年5月、地域の厚い信望を得て、妻沼町議会議員に初当選され、その後、平成17年の市町合併を経て、以来5期20年の長きにわたり、妻沼町議会議員及び熊谷市議会議員として地方自治の振興のため献身的な努力と情熱を傾け、妻沼町及び熊谷市の発展に大きく貢献されました。

この間、氏は、妻沼町議会文教厚生常任委員会委員長、熊谷市議会総務文教常任委員会委員長等の要職を歴任し、豊富な経験と卓越した識見を遺憾なく発揮され、広く住民の声を町政及び市政に反映させるとともに、多くの課題解決に力を注がれました。

氏の優れた政治手腕と温厚篤実で公平無私な人柄が多くの信頼を得て、平成15年には妻沼町議会議長に就任されました。在任中は、優れた判断力と指導力で議会と執行部との綿密な連携を保ち、効率的かつ円滑な議会運営に尽力されました。

また、氏は、大里広域市町村圏組合議会議員、大里郡利根川水害予防組合議会議員、妻沼南河原環境施設組合議会議員及び同議会議長等、広範にわたり献身的に活動され、広域行政の充実と発展に貢献されました。

さらに、妻沼町及び熊谷市の都市計画審議会委員を長年務め、都市計画・まちづくりに対して尽力されたほか、妻沼町及び熊谷市の農業委員会委員として農業の振興に手腕を発揮されるなど、地域の特性を生かした地域自治の推進に寄与された功績は誠に顕著です。